



3 2024

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jiho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・ディジー)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 教区宣教師牧評議会
 - ☆ 春の司祭司牧者人事異動第1次
 - ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊
 - ☆ ラジオ「信仰の時間」春の昌哉神父
 - ☆ イエスにならう生き方を求めて
 - ☆ 「生きる」 難民移住移動者
 - ☆ 聞かせてください、神様と出会った時のこと
 - ☆ カラキズムの学び
- 5面 (2面) (3面) (4面) (5面)

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



令和6年能登半島地震 今何を求められているのか



震災前 (輪島市河井町付近)



震災後

2024年1月1日16時10分に石川県能登半島の穴水町の北東42kmを震央とした地震が発生した。マグニチュードは7.6。観測された最大震度は羽咋郡志賀町で震度7を記録した。

震度7を記録した地震は、1995年1月の阪神・淡路大震災(1回目)、2004年10月の新潟県中越地震(2回目)、11年3月の東日本大震災(3回目)、16年4月の熊本地震(4回目・5回目)、18年9月の北海道胆振東部地震(6回目)に続いて今回で7回目となる。

今回の地震では、珠洲市や七尾市では津波も観測された。輪島市では地震による倒壊と火災が重なり、復旧に時間を要している。2月2日現在で死者240名、負傷者1181人、住宅被害49,429棟。

名古屋教区では、カトリック中央協議会のERST災害時緊急対応チームとカリタスジャパンと協議を行ったうえで、「カリタス」とサポートセンター」を1月20日に立ち上げて長期的な支援活動を行う。被災地では、地盤の隆起

による道路などの亀裂、陥没が起こっている。能登半島の動脈といえる「のと里山海道」も亀裂などにより使用できなくなっているため、輪島市や珠洲市へ向かう車両は、緊急救援車両に限られる事態も起きている。

道路の復旧が進み、ライフラインの回復が進まなければ



輪島に向かう道中の様子

ボランティアの受け入れも難しい状況である。ERSTの関係で被災地にたびたび足を運んでいるが、はじめて被災地入りした時から1カ月を経過しても、がれきの片づけなどが進んでいない状況に驚きを感じた。また避難所で生活をしている人たちと話をしても、ライフラインの復旧、特に水道の復旧が進んでいないことから、生活に苦労されている。さらに手を洗う水も十分になく、なかなか洗えない状況で、「カリタス」とサポートセンター」の活動で炊き出しを行った際に、手洗い用の水をタンクで持って行き、食事

今回の地震への支援活動は、北陸の天候にも影響を受けている。「弁当忘れても傘忘れるな」といわれるくらい、天気が変わりやすい地域で、実際に活動中も雪が降っていたかと思えば晴れ間になり、雨に降られると防水のジャンパーが必須な状況だった。天候が落ち着く3月くらいから、本格的にボランティアが入れる時期となる。

(文 カリタスとサポートセンター 深堀 崇)



輪島朝市通り付近の火災跡



隆起したマンホール (輪島市内)



倒壊寸前の木造家屋 (輪島市内)

大阪高松教区

教区召命の日

たんじょうのふゆき 丹生信雪神学生 祭壇奉仕者選任式

3月20日(水・祝)11時

大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂

主司式 前田万葉大司教

シノドス的新教区に向けて

1月14日、大阪高松教区東部・教区宣教科司牧評議会が司教館およびオンラインにて開催された。

東部という言葉の通り、旧大阪教区で行われてきた内容での会議であり、次回から新教区としての会議とその準備が新たに始まっていくこととなるが、新教区自体は既に始まっているため四国の各地区からも参加を頂いた。

初めに新教区の動きと大司教からの新年メッセージの説明があり、教区の範囲の広がりに合わせて遠くのニュースにも耳を傾け、お互いの思いを自分の事のように聴き、理解を深め合う事の大切さが強調された。

続いて、昨年ローマで行われたシノドス総会第一会期についてシノドス担当チームから説明があり、そこでの会議の進め方である「霊における会話」の形式を用いて「どのようになれば新教区は宣教においてシノドスの教会になりうるか」をテーマにグループ別の分かち合いが行われた。沈黙による祈りの時間と一人ひとりが発言する時間を交互に繰り返して、最終的にまとめられた意見がグループごとに発表された。遠近を問わない積極的な交流の実現に向けたアイデアなども提出された一方、祈りを通して考えるという霊的な手法への戸惑いや、時間を区切ることへの疑問なども出された。

今後は冒頭の通り新教区としての会議を形成していく事になるが、特に距離の壁をどのように解決していくかが大きな課題である。同じ教区の兄弟姉妹として共に歩むシンボルとなるよう模索していきたい。

(文) 教区宣教科司牧評議会運営委員会



教区の皆さま

2024年2月16日

2024年春 司祭・司牧者人事異動(第1次)について

大司教 前田 万葉



十キリストの平和

2024年春の司祭・司牧者人事異動を発表いたします。大阪高松大司教区となり、皆様と共に歩みを始める第一歩となります。それぞれが歩みを始めながらしだいに足並みがそろっていただけるようご協力をお願いいたします。新しい任地に派遣される神父様方、どうぞよろしくお祈りいたします。教区外へ異動される司祭・修道者の皆様には、これまで大阪教区のために献身的にお働き下さったことに心からお礼を申し上げます。

感謝と祈りのうちに。

「性虐待被害者のための 祈りとつぐない」の日に向けて 祈りの集い

日時：3月2日(土) 14時～15時

場所：サクラ ファミリア

(大阪市北区豊崎3-12-8 TEL:06-6225-8871)

祈り：テゼと聖書による祈り

(特別メッセージ)

教皇フランシスコは「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを2016年に決定しました。日本の司教団は教皇の呼びかけにこたえ、その日を四旬節・第二金曜日に定め、教区では大司教が前後の日曜日にミサをささげるよう、よびかけられました。

大阪高松教区としましては被害者の皆さまの苦しみを受け止め、キリストの教会として誰もが大事にされ、安心できる共同体になるための集いの開催を望んでおりました。今年は、昨年からはじめた祈りの集いを引き続き企画しました。

子どもと女性をとりまくさまざまな問題を通して「神からいただいたいのち」をもう一度深く味わい、人を傷つけ、いのちの輝きを奪うことのないよう謙虚な気持ちでたたずみ、傷つき苦しむ人のいのちが再び輝きを放つよう祈る時間を持ちたいと思います。

どなたさまもご自由にご参加ください。



主催：カトリック大阪高松大司教区

ハラスメント対応委員会

問合せ：教区本部事務局(06-6941-9700)

2024年春司祭・司牧者 人事異動(第一次)

3月10日付

*名前の後のかっこ内は現任地、矢印の右が新任地

【姫路地区】

Fr.赤波江豊(豊岡 小教区管理者) → 離任 ※豊岡の管理とミサは教区が担当致します。

【神戸地区】

Fr.林和則(神戸西B共同) → 香里(河北B)主任

【阪神地区】

Fr.川邨裕明(芦屋(阪神夙川B)主任) → 芦屋・甲子園(阪神夙川B)主任

Fr.アマド・カバレロIII C.M.(甲子園(阪神夙川B)主任) → 神戸西B共同

【大阪北地区】

Fr.赤波江豊(香里(河北B)主任) → 四国カトリック会館居住

4月14日付

【姫路地区】

Fr.レネ・バシト・カンデラリアC.I.C.M.(姫路西B協力) → 淳心会本部

【神戸地区】

Fr.中村健三S.J.(六甲教会 助任) → 教区外

【阪神地区】

Fr.ヒラン・インディカ O.M.I.(伊丹(阪神仁川B)主任) → 中島町 主任

Fr.エマヌエル・ポボンM.E.P.(武庫之荘(阪神尼崎B)主任) → 離任

Fr.山口武史(園田(阪神尼崎B)主任) → 園田・武庫之荘(阪神尼崎B)主任

【大阪北地区】

Fr.松浦信行(梅田B共同) → 司教代理・四国カトリック会館館長・香川地区モデラートル

Fr.ティアゴ・ダ・コンセイサオ・エステヴァオ・トマス S.M.B.N.(日本語研修・香里居住) → 武庫之荘ミサ協力(日本語研修・武庫之荘居住)

【岸和田地区】

Fr.ロペス・オロスコ・フェリペ・デ・ヘススS.X.(いずみB協力) → 教区外

【香川地区】

Fr.ホルヘ・ソーサ(丸亀・善通寺(西讃B)主任) → 姫路西B共同

Fr.オソリオ・フェルナンデス・アントニオ(観音寺・伊予三島(西讃B)主任) → 梅田B共同

【高知地区】

Fr.岩崎武(江ノ口・中島町 主任) → 江ノ口 主任

【その他】

Fr.渡辺徹郎S.J.(教区外) → 六甲助任

Fr.谷口幸紀(教区外) → 神戸中央居住・ミサ協力

Fr.イルダヤラージ・アントニオ・オ.M.I.(教区外) → 伊丹(阪神仁川B)主任

Fr.ヤピッカ・アントネッロ → 東讃Bミサ協力

人事異動は上記のとおりです。姫路地区から順に地区単位で記載しています。今回は着任日が3月10日と4月14日の2回に分かれていますのでご注意ください。

*3月10日付での異動となる神父様は、3月3日(日)からの一週間内に移っていただき、3月10日(日)より正式に新しい教会に着任いただくようお願いいたします。

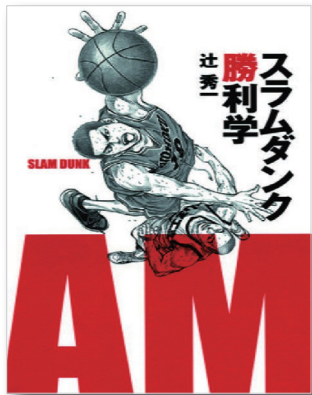
*4月14日付で異動となる神父様は、原則として復活節第2主日の4月7日(日)からの一週間内に移っていただき、4月14日(日)より正式に新しい教会に着任するようにしてください。

ともに福音の喜びを人びとに伝える働きをしていただきますよう、心からお願いいたします。



司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでほしい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、吉田利満(サレジオ会)が担当。

吉田利満神父から
この一冊



『スラムダンク勝利学』(辻秀一著、集英社インターナショナル、税込1320円) かつて『週刊少年ジャンプ』で連載され、小学生から中高生・若者の心をわしづかみにした高校バスケットボールを題材にした、超人気漫画『スラムダンク』(コミックス全31巻、作者井上雄彦)がありました。さらに2022年には映画『THE FIRST SLAM DUNK』が新たに制作・公開され、今なお愛される名作と呼ばれるにふさわしい作品です。『スラムダンク勝利学』

(以下『勝利学』)は、この『スラムダンク』をベースにした単なるマンガの解説書ではなく、とても深い内容になっている一冊です。著者は、いろいろなプロスポーツチームにおいて、スポーツ心理トレーナーとしての立場から多くの一流アスリート・チームと接した経験を踏まえ、『スラムダンク』に散りばめられた「一流のアスリート・チームに必要なこと」「勝利を目指す選手・チームが持つべきこと」を考察しています。しかし、その考察は単にスポーツという枠にとらわれることなく、「自分を知ること」「日々の生活における考え方の大切さ」「目標を持つことの意味」「目標に向かっているように考え、行動するの」「自分と他者との関わり」など、社会で生活していく私たち一人ひとりにとって「人生を送るにあたって大切なこと」を見つめるきっかけに出来る深い内容になっています。まずは、『勝利学』のベースになっている『スラムダンク』を読んでもらえると一層『勝利学』の理解が深まると思います(『スラムダンク』自体もとても面白いので、ぜひ！)。

この本には、イエス・キリストや神様は出てきません……。ですが多くの人びと、特に若者が毎日の生活の中で体験する悩みや挫折、また「何を目標してどのようになんていけばいいのかわからないか」という問いに対しての解決へのヒントや前に進む勇氣を見つけてもらえるのではないかと思います。

この本を読んで一人でも多くの若者が、神様から私たちに与えられた大切な「この時」を充実したものにしてもらえたらと願っています。

■ 本号をもちまして『司牧者から若者たちにこの一冊』の連載は終了します。改めて、大阪高松教区報の創刊号で『司祭からこの一冊』と題して、教区内の司祭が記憶に残る、また心に残った書籍を、司祭紹介を兼ねて掲載します。



ラジオ
信仰の時間

ワールドユースデー
リスボン大会

1月担当(1月7日放送分)

春名昌哉神父
(大阪高松教区)

昨年ポルトガルの首都リスボンで開催されたワールドユースデーに約10年ぶりに参加してきました。ワールドユースデーは聖ヨハネ・パウロ二世教皇の呼びかけで1985年に始まり、それ以来2、3年ごとに開かれてきました。毎回世界各地から大勢の青年たちが参加します。

わたしは1995年にフィリピンのマニラで開催されたときに青年として、2011年にスペインのマドリードで開催されたときには同伴者として参加しました。マニラ大会には約400万人、マドリード大会は約200万人の青年たちが集まりました。今回も世界中から多くの青年たちが参加しています。教皇を中心として青年たちが集まり、祈りとカテケジス、分かち合いを中心にして互いの交わりを深めていきます。

1995年のマニラ大会に参加したときは、大学生でした。初めての海外旅行でもあったので、緊張していたことを思い出します。英語もろくに話せないのに、果たして外国人の青年たちと交流することができるだろうか。しかし、現地に着いて、多くの青年たちと出会っていく中で、この思いはあつという間に払拭されました。世界中から集まった青年たち、またホスト国のフィリピンの青年たちは気軽にわたしたちに声をかけてくれ、同

じ信仰を分かち合っていることを実感しました。世界中からの参加者とコミュニケーションを取ることは、それほど難しいことではないことに気がつく、同じキリスト者として信仰によって、深く結ばれていることに気づきます。教会は一つであることを、肌で感じる事ができました。

今回のリスボン大会には日本公式巡礼団として、青年、同伴者、スタッフあわせて約100人が参加しました。ワールドユースデーに参加する青年たちの動機はさまざま、自分の信仰を見つめなおしたい人、世界中の青年と交流を深めたい人、観光気分の人、親に言われたからという人、いろいろな思いを持った青年たちが集まりました。

現地では青年と同伴者12、3人のグループで行動しました。基本は徒歩と公共交通機関を利用した移動でした。わたしは以前にリスボンを1度訪れたことがあったので、海のすぐそばまで丘がせまり、上り下りの激しい街だと知っていましたが、ほとんどの青年は知らなかったようで、徒歩で勾配のきつい上り下りを移動することがたいへんだったようです。大会期間中のイベントは楽しいけれど、会場までの移動がきついと青年たちは訴えていました。最初のうちはもう2度と参加したくない、教会の友だちや後輩にも参加を勧めない、などの声が聞かれました。しかし教皇フランシスコの言葉、移動中やイベント会場で出会う世界各国からの、青年たちとの交流をおし

て楽しみを感じてくれたようで、帰国前の分かち合いの時には、涙を流しながら自分たちの体験をおして感じたこと、自分がキリスト者として、今後どのように生きたいかを分かち合ってくれました。

最初のうちはもう2度と参加したくないと言っていた青年たちが、約10日間ワールドユースデーの期間を過ごすことで、大きく変えられたことを実感します。

次も絶対に参加したい、帰国したら友だちにも参加を勧めたい。始まった当初と比べれば大きな変化です。それぞれが多くの人との出会いをおして、素晴らしい恵みをいただいたのだと思います。

次の世代の教会を担う青年たちが、一人でも多く参加してくれることを望んでいます。

このなかなか味わうことのできない体験が、青年たちの心をより豊かにし、これからの信仰生活の糧としてくれることを心から願っています。



毎週日曜日 5:50 ~ 6:00AM 放送
ABC ラジオ (朝日放送) AM1008 / FM93.3
スマホアプリの radiko でも聴けます。



誰もが大切にされる居場所



多くの教会では、AA（アルコールリクス・アノニマス）やアラノン、マックといった、アルコールやギャンブルなどさまざまな依存症からの回復をめざす人たちの自助グループに場所をお貸ししてきました。自助グループには「12のステップ」という回復の指針があります。自分の弱さを認め、「偉大な力」にゆだねることなどが書かれています。教会は彼らにとって大切な「居場所」となっています。



12のステップ



単なる「場所貸し」に過ぎませんけど

紀伊田辺教会 石井 望神父



今 わたしが担当している教会では、GA（ギャンブル依存症の自助グループ）の集まりが毎週と、GM（その家族の自助グループ）の集まりが月2回開かれています。

和歌山県は、端から端まで200キロくらいありますが、数年前までギャンブル依存症の自助グループは、県北端の屋形町教会（現・和歌山紀北教会 屋形町聖堂）だけにしかなくて、毎週100キロの道を通っていた人もいました。

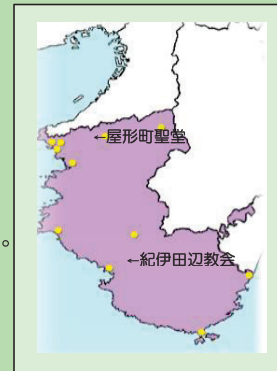
今は県南部の当・紀伊田辺教会と2か所になったので、さらに100キロ離れたところからの参加者も来られるそうです。最西端の新宮市でも、新たなGA立ち上げの準備をしていると聞きました。

依存症の背景には、個人の問題以上に人と人との関わりの問題があると聞きました。「本人はもちろん、周囲の人や地域社会の正しい理解とサポート体制があれば、孤立せずに回復する機会が得られますが、現状は全く逆です」とも。

GA案内パンフの表紙に、「誰かがどこかで助けを求めたら、必ずそこにGAの愛の手があるようにしたい」とあります。地道に歩み続ける自助グループの活動には頭が下がります。回復の12ステップに言う「ハイパーパワー」の支えあつてのことでしょう。

これは教会の活動ではありませんし、単なる「場所貸し」にすぎませんが、同じ巡礼の途上で出会えて感謝です。

カトリック紀伊田辺教会：田辺市上屋敷2-15-24 (TEL: 0739-22-0281)



「自助会とは」 ～依存症の立場から～

なみはや教会 M. K



大阪教区内で会場をお借りしている「依存症の自助会」をご存知でしょうか。最近よく話題となる「ギャンブル依存症」とその「自助会」についてご報告します。依存症は、「孤独の病」と呼ばれています。ほんの一例ですが、家庭内暴力などで生育過程に影響があると、愛される実感に乏しく虚しさや生きづらさを埋めるつもりで、酒や薬物、ギャンブルといった刺激的で多幸感のあるものを過剰に求めてしまうことがあるようです。

その偽りの喜びの中、異常な行動が続き、職場や家族からの信頼を失う頃には、自ら「孤独」を選び、他者との関わりを断ち、自分の存在価値を全く否定し、絶望に苛まれます。依存症は、「自分の意志が弱い人」といった偏見がありますが、依存症は診断基準のある病気です。

これこそ、「小さくされた者」ではないでしょうか。

「自助会」には同じような境遇、苦しみや辛さを持つ仲間がいます。それは、まさに「隣人」です。誰にも理解されなかった話を無言で聴く人たちがいる。たったそれだけで、自分の存在の意味に気づく。経験を分かち合うことが、誰かの役に立つという不思議な巡りあわせを体験します。

参加する条件は、ただ「今の状況をやめたい」という思いを持つことだけです。

仲間との交流を続けるうちに、病から解放されている日々を送る奇跡、自分を越えた大きな力が働いてくること、それが神の存在だと気づくことで、回復の道を歩み始めます。

今日も、新しい人が教会の一室にやってきます。そして仲間という「隣人」を互いに感じることで、神の愛を知り、「生きていても良い」ことに気づきます。「愛の反対は無関心」というマザー・テレサの言葉がありますが、「アディクション（依存症）の反対はコネクション（繋がり）」と言われる。自助会のメンバーをお見かけした際は、どうぞ少し微笑んでみてください。可能であれば、お声をかけてください。

私は、そうした信者さんとの新たな繋がりで、主の道に辿り着くことができた一人です。



大阪マックとは

大阪マック カウンセラー 田島 已喜雄



「大阪マック」は、アルコール・薬物・ギャンブル・その他の依存症者が依存から回復するための施設です。設立は1981年です。

昔、アルコールに依存していた私は、東京でマックに出会い、AAミーティングが始まりました。埼玉県大宮市に20人が住めるグループホームができて、入寮しました。1975年のことでした。そこには神父さんや神学生もいました。そこで回復することができた私は、仕事に就いてアパートに住み、自立しました。一人になると淋しいので、また飲み始めるかと思いましたが、今日まで49年間、飲みたいと思ったことはありません。その7年後、私は「大阪マック」を開設するために一人で大阪に来ました。大阪に来てからは、安田大司教様と梅原神父様、神林神父様、名古屋教区に行かれた松浦司教様に、後援会長や理事になっていただきました。現在は、高槻教会の清川神父様が理事長です。



大阪マック
ハウス・リビング

依存から回復したい人は、性別に関係なく誰でもマックにもAAミーティングにも参加することができます。大阪マックは、12ステップを基礎にして、ミーティングや軽作業やレクリエーション等で社会復帰をめざします。アルコール・薬物・ギャンブルなどを使用しないで生きるために必要なミーティングを取り入れ、抱えている問題の解決を目指します。一人ではできないことでも、仲間と一緒に努力することで、依存症からの回復ができるのです。依存症の仲間とのミーティングに出会わなければ、依存症を止めることはできません。

マックは、初めのケアをする場所で、出会う場所が必要です。教会を借りてミーティングをするのは、教会が霊的な場所であり、無料で借りることができるからでした。私たちのプログラムは、自分の理解した神でなければ回復できないからです。会費は無く、献金だけでAAミーティングは行われています。10年前までは、シスターが住んでいた家を借りていましたが、梅原神父様と教会の支援で新しい5階建ての「マック」ができました。感謝いたします。大阪カリタスにもお世話になりました。皆様に感謝いたします。

皆様の周りに依存者がいましたら、マックを紹介して下さいれば幸いです。政治、宗教、宗派、性別などは無関係です。

大阪マック 大阪市浪速区日本橋東1-3-5 TEL:06-6648-1717 (9:00~17:00 年中無休)



聞かせてください 神さまと出会った時のこと 〜エマオへの道で〜

第8回 高橋 聡 神父 (神戸西ブロック・明石教会)

加古川教会の出身。両親ともにカトリックの家庭に生まれた。人生で劇的に神さまと出会った経験はない。幼児洗礼で神さまと出会い、そのままに至っている。

言葉を話し出してすぐに祈りを覚え「神さまの勉強がしたい」と言っていた。小学生時代から、母の愛読書の聖人や霊性の本、公教要理、簡単な神学の本を読んでいた。高校生の時、父が洗礼を受けるきっかけとなった、岩下壮一神父の『信仰の遺産』が復刊され、旧仮名遣いの本を、私もよく読んだ。その影響もあり、古い信仰の枠組みが私の中に強く残っている。

高校1年、冬休み前の三者面談の日。登校途中、ひどく暗い所に沈んでいく感じ

神父に勧められ、大阪教区召命錬成会に参加した。諏訪栄治郎神父の話に引き込まれ、神学生との対話も新鮮で、この時の印象が、後に大阪教区の神学生志願者となるきっかけとなる。その後、岡山大学文学部哲学科に入学。淳心学生センター(通称デマンク寮)から大学に通った。帰る時間も個人に任せられ、解放された気持ちになった。敷かれたレールの上を歩くのではなく、自分で考え自分で生きようと思った。しかし、最終的には司祭への道を選ぶしかなかった。自分自身の性格、弱さや霊的な迷い、恋愛や人間関係を経験し、神様がいないと生きていけないと心底思ったからだ。霊的な迷いがあった時期、「信仰の光」というグループや、アフリカ宣教の夢をもつシスター志望の後輩にもつシスター志望の後輩に会った。古い人間に属していた私は、新しい感覚の

高校2年の時に、マリオ

後輩たちに触発され、やはり神父になろうと答えを出した。1988年、大阪で開催された正義と平和全国大会に参加したとき、「大阪教区の神学生になりた」と伝えた。松浦悟郎神父がおられた、玉造の小学校に泊まって交流を続けた。そのまま神学生になってしまった。

しかし、神学生となっても自信は持てず、「やめようと思う」と何度か司教様に伝えたが、そのたびに、私の意志は遮られた。助祭になる準備のただ中、阪神・淡路大震災が起きた。劇的な時代の中で、いろいろな迷いのなかで叙階を受けた。フィリピン・サンボワンガの研修を経て、1997年3月20日に加古川教会で司祭叙階。信仰がなければ、人生は完全に漂流状態。不確かなこの世の中で、信仰の確かさを求めていたら、神父になつてしまった。そして、信仰が目指すのは、やはり

「カテキズムの学び」 第48回 ゆるしの秘跡(前半)

*クラスは右のQRコードから



ゆるしの秘跡と病者の塗油は、二つのいやしの秘跡です。主イエス・キリストは、わたしたちの霊魂とからだの医師であり、ご自分のいやしと救いのわざを教会が聖霊の力によってその成員に対しても続けることをお望みになりました。これが二つのいやしの秘跡、すなわち、ゆるしの秘跡と病者の塗油の秘跡です。(1421番)

なぜゆるしの秘跡が必要なのでしょう。

キリスト者となった当初に受けた新しいのちは、人間本性のもろさと弱さ、ならびに罪への傾きを停止させるわけではありません。この傾きは教会では伝統的に欲情と呼ばれており、…洗礼を受けた人々のうちにも残ります。(1426番)

欲情という悪への傾きはすべての人にありますが、それ自体が罪ではなく、欲情に負けて罪である行為をすることが罪です。つまり欲情を持つ人の「Be (存在)」は罪ではなく、罪を犯す「Do (行為)」が罪だということです。この明確な区別があるからこそ、教会は罪びとであるすべての人のための居場所であり、存在としてすべての人を祝福すると同時に、各自が罪となる行為を糾申し告白してゆるしを求める場としての秘跡を用意しているのです。

かつては罪がゆるされるハードルは高かったのですが、今は容易になりました。

悔い改める者は和解を受ける前に、自分の犯した罪の公の償いを、しばしば長い年月にわたって行わなければなりません。この「蹟罪者団」に入るとはまれにしかゆるされず、教会のある地方では、生涯にただ一度だけゆるされてきました。……(後に)ゆるしの秘跡は悔い改める者と司祭との間で、ひそかに行われるようになります。この新しい慣行に従って、ゆるしの秘跡を繰り返し受けることがゆるされ、こうしてこの秘跡を定期的に繰り返し受ける道が開かれました。(1447番)

神のいつくしみの業であるゆるしの秘跡に定期的に与るように努めたいものです。(文 酒井俊弘補佐司教)

訃報

初誓願宣立後、熊本、大阪、和歌山の信愛女学院において、長年にわたり社会科の教諭として子どもたちの教育のために尽くした。学校退職後は、各地の共同体の修道院内で院長、受付会計などの奉仕をしたが、京都では、幼稚園保護者へ



のキリスト教的講話にも尽力した。晩年は、病気や骨折、リハビリのため入院を繰り返した。2021年1月からドムスガラシアに入居し、姉妹たちと共に、穏やかに迎えた。2024年2月3日、ドムスガラシアで老衰のため帰天。95歳。奉獻生活50年。

【お詫びと訂正】

本紙2月号に記載の誤りがありました。

6面 【行事等日程】
(誤)2/5(日) →(正)2/5(月)

お詫びし訂正します
(広報委員会)

命令を取り消す」と宣告し、遂に在留特別許可がおりたのです。生まれて20年あまり、常に生存権を脅かされていたとき、うだいが、足枷(あしかせ)から解放された瞬間でした。在留カードを手にしたこともともに、私たちは力いっぱい拍手を送りました。

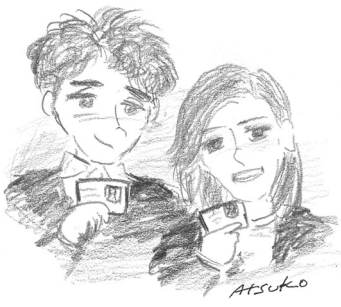
「12月のお話より抜粋。サクラファミリアで偶数月に開催中」

「生きる」——難民移住者

現実を知り、祈りながら行動して下さったあなたへありがとう

「夏休みがすめば、あなたたちをペルーへ強制送還する」。入国管理局(以下、入管)の取調室で、ペルー人のこどもたちがそう宣告を受けたのは2017年でした。

「こどもを守ろう」と14名もの弁護士が代理人となり国を相手取って裁判を闘い、多くの市民が支えました。生活費や教育費を援助する人、塾に行けないこどもたちの勉強を見る人、破格の家賃で住まいを提供した人、裁判の傍聴に向く人。こどもたちが犯罪者呼



「この一家だけではなく、常に大勢の仮放免者に徹底的に関わるカトリック教会って何なんスカねえ。しかも地域を越えて幅広い。そうそう、どんどん称賛してください。さて皆さま、長きに渡りこのコラムを読んで下さったことに感謝と御礼を申し上げます。」

そして先月の2月16日、入管に出頭したとき、担当官が「退去強制処分

20年間、どうもありがとうございました。
(文 シナピス事務局 ビスカルド篤子)

来見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 3/21(木) 18:30~20:00

講師 酒井俊弘補佐司教

場所 サクラ ファミリア / YouTube配信あり

主催 使徒職養成委員会

問 ☎06-6941-9700

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 4/22(月) 18:00~19:30 (夜の部)・4/23(火) 10:30~12:00 (昼の部)

お話し 和越 敏神父(仁川教会・コンベンツアル聖フランシスコ修道会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「福音書における祈り」

日時 3/11(月) 13:30~15:00 (1~3月開講)

参加費 ¥500

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 3/6(水) 10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 3/11・3/25(月) 17:00~18:30

松浦信行神父◆「新生の明日を求めて」読書会

日時 毎週(月)(第2は休み) 14:00~15:30

松浦信行神父◆聖書通読会

日時 毎週(木) 10:00~11:30

松浦信行神父◆「YOUCAT(青年向けカテキズム)」勉強会

日時 毎週(金) 19:00~20:00

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30

問 サクラ ファミリア

☎06-6225-8871

✉f.sacra@osaka.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 3/3(日)~3/24(日) 4回 14:00~15:30

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 9/1(日)~9/22(日) 4回 14:00~16:00

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846

✉renraku@rokko-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆日帰り黙想会

日時 3/21(木)・3/22(金) 10:00~15:30

指導 梁野治雄神父(3/21)

山内十束神父(3/22)

参加費 ¥3,500

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水) 10:00~12:00

指導 梁野治雄神父

参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水) 10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家

☎0797-84-3111

講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金) 10:00

場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

主催 神戸国際支縁機構

問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える

15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土) 14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター (またはZoom)

問 レネ神父・水元

☎072-232-8063

✉osakaycw@gmail.com

HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフト captiOnline を使いパソコンまたはスマホで練習します。

日時 毎月第2(水) 10:00~12:00

場所 教区本部事務局 1階会議室

主催 要約筆記グループ “エフファタ!”

日時 毎月第2(水) 10:00~12:00

場所 教区本部事務局 1階会議室

主催 要約筆記グループ “エフファタ!”

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い

守秘義務と分かち合い いつ来てもウェルカム

当日キャンセルOK

日時 毎月第3(日) 14:00~16:00

場所 姫里集会所

参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)

申込 吉川まで

問 ☎078-583-2525

✉yassan.yoshikawa@nifty.com

カ障連大阪フレンドリー ◆点字部の勉強会

対象 パソコン点訳に関心のあるかた、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時 毎月第2(火) 13:30~15:00

場所 姫里集会所(奇数月)

北須磨教会(偶数月)

申込 笠松まで

問 ☎090-5661-4324

☎072-722-0271

✉kasamatsu-yukisan

@iris.eonet.ne.jp

手話に興味をお持ちの方へ ◆聞こえない人も聞こえる人もボランティア会の見学にいらいしてください

内容 聖書の学び・教区活動の手話通訳者派遣

※手話講習会ではありません

日時 第1・3・5(水) 10:00~14:00

場所 姫里集会所

主催 大阪教区聴覚障がい者ボランティア会

問 障がい者委員会

dis@osaka.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い ◆大阪梅田教会

日時 第1(土) 14:00

問 高塚 ☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火) 13:00~14:30

問 佐藤 ☎079-435-1157

大阪高松大司教区の新サイトを公開しました

ここからQRコードを読み込んでください▼



https://ostk.catholic.jp

行事等日程		
3月		
1	金	性虐待被害者のための祈りと償いの日 [常任司教委員会]
7	木	聖ヨセフ
20	水	教区召命の日
21	木	大阪高松教区司教座聖堂献堂記念日
24	日	受難の主日(枝の主日)
27	水	11時 聖香油ミサ 司祭金銀祝(カテドラル) 14時 責任役員会
28	木	聖木曜日(主の晩さん)
29	金	聖金曜日(主の受難、大斎・小斎) 聖地のための献金
30	土	聖土曜日
31	日	復活の主日 教区会計年度末

大阪のカトリック病院
ガラシア病院

特徴的な医療
ホスピス・糖尿病内科
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会
理事長 前田万葉 大司教
チャプレン 松本信愛 神父

看護師 募集中

〒562-8567
箕面市粟生間谷西 6-14-1
☎072-729-2345

医療法人ガラシア会

【泉佐野教会】▽9時

主日ミサ時間変更

案内・報告

※4月7日以降

- ### 3月司教予定
- (下記「行事等日程」以外)
- 3/3 大津教会黙想会(+S)
 - 3/7~8 日本のシノドスの集い(+S)
 - 3/10 高知地区黙想会(+S)
 - 3/16 新居浜教会献堂式(+M)
 - 3/16 大阪聖ヨセフ会誓願式(+S)
 - 3/17 丸亀教会堅信式(+M)
 - 3/17 坂出教会黙想会(+S)
 - 3/23 ショファイユの幼きイエズス修道会 誓願式(+M)
 - 3/23 聖フランシスコ病院修道会誓願式(+S)
 - 3/30 復活徹夜祭 玉造教会(+M)/桜町教会(+S)
 - 3/31 復活祭 玉造教会(+M)/三本松教会(+S)
- +M=前田万葉大司教
+S=酒井俊弘補佐司教

編集後記

カトリック時報としての新聞発行はこれが最終号です。本音を言おうとさびしいです。▼

4月号からは、大阪高松教区報としてスタートします。新しいロゴも公募作品から、司教様たちによって選ばれました。編集会議を重ねて、新しい紙面づくりの準備を進めていきます。▼その結果、これまで掲載してきた連載物やコラムは、いったんすべてを終わりにします。新しい編集が落ち着きを見せたら、新しいものに再開するものもあるかと思えます。▼時報を、長きにわたって愛読していただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。これから始まる新しい紙面に期待ください。引き続き手にとっていただくとともに、努力を重ねてまいります。

(広報委員会
川柳裕明)